第一条 次に掲げる者とする。 (子及び子と同居している者に関する情報を有している者) 第一項 (法第二十条において準用する場合を含む。次条において同じ。)の政令で定める者は、 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約の実施に関する法律 (以下「法」という。)第

4

二 学校及び大学以外の教育施設であって、 号において同じ。)の設置者 法第百二十四条に規定する専修学校又は同法第百三十四条第一項に規定する各種学校をいう。学校(学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)第一条に規定する学校(大学を除く。)、 我が国に居住する外国人を専ら対象とし、 かつ、

教育に類する教育を行うものの設置者 児童福祉法(昭和二十二年法律第百六十四号)第五十九条の二第一項に規定する施設の設置者

学校

次 同

医療法 (昭和二十三年法律第二百五号) 第一条の五第一項に規定する病院又は同条第二項に規

水道法 (昭和三十二年法律第百七十七号)第三条第五項に規定する水道事業者

七六五 電気事業法 (昭和三十九年法律第百七十号) 第二条第一項第二号に規定する一般電気事業者 電気事業法第二条第一項第六号に規定する特定電気事業者

準用する場合を含む。)の表の下欄に掲げる者 児童手当法 (昭和四十六年法律第七十三号) 第十七条第一項 (同法附則第二条第三項にお

条第五項 (同法第二十八条の二において準用する場合を含む。)に規定する民間の団体の代表者 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(平成十三年法律第三十一号)第三電気通信事業法(昭和五十九年法律第八十六号)第二条第五号に規定する電気通信事業者

(子の住所等に関する情報の提供を求める方法)

第二条 外務大臣は、法第五条第一項の規定により、同項に規定する情報の提供を求める場合には、 その求める情報の内容をできる限り具体的に特定し、当該情報を有していると思料される同項に規 文書により、当該情報を記載した書面の提出を求めるものとする。 定する国の行政機関等の長、地方公共団体の長その他の執行機関及び前条各号に掲げる者に対し、 政令第十三号

(子の社会的背景に関する情報を有している者)

官

第三条 法第十五条第一項 (法第二十五条において準用する場合を含む。次条において同じ。)の政令 で定める者は、次に掲げる者とする。

児童福祉法第七条第一項に規定する児童福祉施設の長 第一条第一号から第四号まで又は第十号に掲げる者

三 警視総監又は道府県警察本部長

(子の社会的背景に関する情報の提供を求める方法)

第四条 外務大臣は、法第十五条第一項の規定により、同項に規定する情報の提供を求める場合には、 その求める情報の内容をできる限り具体的に特定し、当該情報を有していると思料される同項に規 定する国の行政機関等の長、地方公共団体の長その他の執行機関及び前条に掲げる者に対し、文書 により、 当該情報を記載した書面の提出を求めるものとする。

)政令は、則 法の施行の日から施行する。

この

内閣総理大臣

安倍 岸谷田垣

外務大臣 法務大臣

文雄 禎一

産業競争力強化法の施行期日を定める政令をここに公布する

名 御

御

平成二十六年一月十七日

内閣総理大臣 安倍

政令第十二号

基づき、この政令を制定する。 内閣は、産業競争力強化法(平成二十五年法律第九十八号)附則第一条(第一号を除く。)の規定に、 内閣は、産業競争力強化法の施行期日を定める政令

の施行期日は同年四月一日とする。 産業競争力強化法の施行期日は平成二十六年一月二十日とし、 同法附則第一条第二号に掲げる規定

総務大臣臨時以内閣総理大臣

財務大臣臨時公法務大臣 国務大臣 谷田理垣村 禎憲

産業競争力強化法施行令をここに公布する。

名

御

Ψ

成二十六年-月十七日

内閣総理大臣

安倍

晋三

産業競争力強化法施行令

(中小企業者の範囲) (中小企業者の範囲) とする。 定める法律は、金融機関等の更生手続の特例等に関する法律(平成八年法律第九十五号)とする。第一条 産業競争力強化法(第十一条第十三号を除き、以下「法」という。)第二条第十四項の政令で(事業再生から除外する手続)

第二条 |額及び常時使用する従業員の数は、次の表のとおりとする。||二条|||法第二条第十七項第五号の政令で定める業種並びにその業種ごとの資本金の額又は出資の総

2				
は語しい語して語りなうではつら目命をが見るがは、アウンのことが	Ξ	=	_	
	旅館業	二   ソフトウェア業又は情報処理サービス業	業を除く。) 工仏製品製造業 (自動車)	業
		処理サービス業	ブ製造業並びに工業用ベルト製造造業(自動車又は航空機用タイヤ	種
	五千万円	三億円	三億円	資本金の額又は出資の総額
0	二百人	三百人	九百人	従業員の数常時使用する

水産加工業協同組合及び水産加工業協同組合連合会事業協同組合及び事業協同小組合並びに協同組合連合会法第二条第十七項第八号の政令で定める組合及び連合会は、 次のとおりとする

四三 商工組合及び商工組合連合会

商店街振興組合及び商店街振興組合連合会